

03.地域との結びつきに関すること

社会教育課で出来る事業は社会（地域）でも



50代

色々な学びが出来る様に、現場の人たちがもっと関わられるようになると思う。
栗山町は様々な経歴、資格、国内外に有名でありながら楽しく伝え経験を通して生き生きと。



70代

市街地→角田→継立のそれぞれの良さをそれぞれの土地で学ぶ機会をつくる



40代

子どもたちに地域の伝統芸能にふれてほしい（太鼓・獅子舞・よさこい）



40代

自然に近い環境で学ぶ



40代



40代

自然にサバイバルアドベンチャーコースを作って、遊びながら体を鍛える



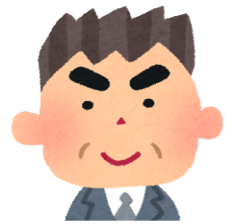
70代

学校は地域にあると思っていた。地域の人が出入りできる場所



70代

家から学校までは歩いて通える距離が理想。帰り道の道草で学ぶことがある。大事にしたい。



50代

地域への帰属意識。住んでる地域と離れるので地域に根差した活動から離れていく。



40代

中部地区に住む若い人が少ない。



40代

子供たちと地域の人たちとの交流が少なくなった。昔は運動会や、どこかへ行ったりと行っていたが今はない。



60代

自然体験を豊富にしてほしい



60代

旧継立中学校とのタイアップした学校づくり



60代

運動会をグレードアップして、地域と運動会として子供たちと一緒に



60代

学芸会を地域と、広い年齢が参加できるようなことができないか



40代

社会見学は町外へ行くが、町外ではなく、町内の色々な職場を見て栗山の魅力を知ってもらいたい。



40代

継立小学校は生徒数が少ないところも魅力の一つでは？勉強以外にも課外授業もあって（ハサンベツや食育）そこは大事にしたい。



40代

社会自体が大きくなっている。子供たちが大きくなった時に人とのコミュニケーションが取れなくなった時、困る。いろんな経験をして、先輩や後輩との関係、地域の人との関係が将来子供たちの自立につながると思う。



40代

五感を通じた体験を地域の人と協力していけたらいいと思う。（先生に負担かけないように）



30代

田植えや稲刈り等の自然体験はとてもいい体験なので、これからも行ってほしい。



30代

地元の施設で働いている現場等を見せるのが、子どもの成長にいいのではないかな。



50代

今の、このご時世、外で遊ぶことも厳しい。安全な場所が欲しい。



50代

学校に学童がくっついていたらいいと思う。子どもが、どこにいるのか分かる環境。



40代

外に出ない理由として、不審者ではない人も不審者になっている。みんなが敏感になっている。みんなが顔なじみになれば解決できるのではないかな。



50代

子どもだけではなく、大人も変化している。地域も変わってきている。町内の行事にも参加してほしい。



40代

高齢者とも関わることができ、見守ってもらえるような（孫目線）、成長を見届けてもらえるような環境づくりがあっていいと思う。



50代

温水プールや、スポーツセンター、図書館もくっついたら、地域の方々と関われる場所が出来るのでは。



40代

体験学習をもっと増やしてほしい。
自由研究がなくなってしまったのは悲しい。



40代

コロナ禍があってから世界が狭くなった。
栗山の学校教育に期待をしている。
栗山町ならではの、大事なもの。
農業や山、夕張川や雨煙別での体験を大切に生かしてほしい。元々あるものを最大限に生かしてほしい。



50代

せっかく、大人たちも関わって、栗山町の良いところを生かして活動しているが、子どもたちに伝わっているのか。キッズクラブやリーダー研修を、もっと子供たちに利用してほしい。



40代

学校の窓から虫が見えたり、田んぼが見えたり、自然が感じられる風景もなくさないでほしい。大人になってから、懐かしいって思える環境がいい。



30代

栗山ならではの事業・文化・まつりを子供たちに知ってほしい。地域の良さを残してほしい。



40代

地域の人たちと協力して、何か体験することも必要だけど学力に力も入れてほしい。



40代

小中一貫となったとしても、角田や継立のお祭り、文化をなくさないでほしい。



40代

文化やお祭りでの取り組みを土曜授業に盛り込んでもいいのでは。



30代

コロナを機に、いろんな体験ができなくなっている。もちつき大会などで地域の人と関わる機会も減ってきている。



40代

高齢者施設との交流



40代

町内での職業体験



40代

交流や体験したことをグループでプレゼンし、家族や町民が視聴できる。



40代

講師を登録するシステムを作り、町民の方々と子ども達が繋がり、見守る事が出来るようになったらいいと思う。



70代

保育所と老人施設が同じ敷地内にあり、交流する事は良いのではないかと感じる。子どもの居場所が必要だと感じる。



50代

現在も行われている体験型学習を継続してほしい。いろいろな企業や施設での活動を経験してほしい



20代

栗山町民も利用できる空間がほしい（大学の食堂や地域に開放のような）



20代

同じ敷地内に学童保育や地域の集会場などがあれば、地域の人が子ども達を見守れたり、お迎えにきた保護者が休憩出来るような空間になるのではないかな。調理室や木工室があれば、先生が回らないところを地域の人に助けて貰う事ができるのではないかな。



20代

体験学習の充実、畑やビニールハウス、花壇があり、農作物を育てる。自然と触れ合う事業は栗山町は取り組んでいるが、プログラムの充実と体験学習を通じて生きる力を養ってほしい。その中でコミュニケーション能力が養われたり、相手のことが考えられたりすると思う。



20代

地域のつながりのある学校がいい



20代

田植え・稲刈り等の栗山だから体験できることは、このまま継続してほしい。



20代

小さな学校で育ち、地域と一緒にって行事をしたり、いろいろ学ぶ事が記憶に残っており、そんな学校が栗山にあれば良いと思う。

自分で考え、自然や社会の中でたくましく生きる力を育てる学校。学力だけではない、社会性やコミュニケーション力、社会にでて必要になる税法や制度、災害や自然の中で生活する知恵と実践を、町の人や物の資源を生かして身に着けられる学校。



20代



20代

学校の体育館で町の人から集めた不用品でバザーをしたり、フードコートを作って縁日をしていたので、同じような活動があれば協力したい。服や学用品など、十分に持つことが出来ない家庭のためになるのではと思いました。

子どもも少なくなり、地域との交流辞退、私の幼少期よりも現代の子供は減っていると感じる。意図的に地域交流の場所をつくり、子供がたくさんの相談相手や安全な顔見知りがある、なにか困った事があったときにSOSが出しやすくなれば良いと思います。



20代



60代

気軽に誰でも入店するところ（カフェランチやキッチンカー）があると、栗山町の中でゆっくり食事できるのではないかな。

福祉の町と謳っているのだから、高齢者と子供が行事ではなく通常に触れ合う事はできないか。



40代



40代

空き教室も多いので、子どもの安全を考えると一般開放は難しいかもしれないが、町全体の活性化が学校から始まると理想的だと感じる。

子どもが町のために何かをして、達成感を得る等の方が得るものがあると思う。



40代



50代

お店屋さんや会社等の体験が出来る授業がある学校